

第2回上海国際図書館フォーラム ：都市の発展と図書館サービス

川崎 良孝

Second Shanghai International Library Forum
：City Development and Library Services

Yoshitaka KAWASAKI

上海図書館は50周年を記念して2002年に第1回上海国際図書館フォーラムを開催し、そののちは隔年で国際図書館フォーラムを開催することになった。そして第2回上海国際図書館フォーラムが2004年10月12日－15日にわたって同館で開催された。日程としては12日が参加者の登録および展示見学の日で、13日から実質的にフォーラムが開始された。フォーラムでの海外からの参加者は日本を含めて16か国で約70名であった。

13日午前の開会式には400名が参加し、同日の午後は全体会での基調報告、翌14日は分科会に分かれて研究発表が続いた。京都大学大学院教育学研究科図書館情報学研究室では、積極的にこのフォーラムに参画した。川崎は日本図書館研究会事務局長として、またこのフォーラム全体の国際企画委員会の委員として、全体の企画に関与した。そうしたこともあって、図書館情報学研究室にこれまで籍をおいた院生、それに非常勤講師としてお世話になっている先生の発表原稿を、本誌に掲載することにした。この措置は発表および会議論文集が英語あるいは中国語であり、日本語の原稿全文の発表の場がないことをも意識している。

当研究室関係者の発表者とその題目は以下である。

- ・13日 全体会基調報告
 - ・川崎良孝「公立図書館の社会的役割」
- ・14日 第1分科会「生涯教育と図書館」（この部分は、日本図書館研究会と上海市図書館学会による第3回日中図書館学セミナーである）
 - ・高島涼子（北陸学院短期大学）「高齢者生涯教育における図書館の役割」
 - ・金智鉉（京都大学大学院教育学研究科博士課程）「視覚障害者への図書館サービス」
 - ・前田稔（東京学芸大学）「公立図書館における児童の「保護」について」
 - ・ナンシー・リー（京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程）、川崎良孝（京都大学大学院教育学研究科）「図書館員の現職教育」
 - ・高歙裕樹（大阪教育大学）「情報源としてのインターネットと図書館」
 - ・山口源治郎（東京学芸大学）「公共図書館と生涯学習」
- ・14日 第4分科会「図書館と都市の知識基盤」
 - ・薬師院はるみ（大阪樟蔭女子大学）「電子時代における図書館観の変容」

このうち14日のリーと川崎の発表は本号の紀要に掲載されている川崎「司書の継続教育についての国際的状況」と重複が多いので省略した。